

令和元年度森林湖沼環境税活用事業の実績について

1 税込額・支出額


()は前年度繰越額を内書き


	当初計画	決算見込み
(1) 税込額	1, 756, 992千円	1, 761, 882千円
(2) 支出額 (税込額)	2, 257, 448千円	1, 650, 488千円
森林の保全・整備	1, 066, 464千円 (108, 175千円)	744, 930千円 (102, 966千円)
湖沼・河川の水質保全	1, 190, 984千円 (4, 598千円)	905, 558千円 (4, 590千円)

2 森林の保全・整備

(1) 令和元年度の実績

()は前年度繰越額を内書き

事業区分 (事業名)	事業内容	当初計画	実績
① 自立した林業経営による適切な森林管理と木材利用の推進		679, 607千円 (99,955千円)	432, 030千円 (95,811千円)
<p>いばらきの森再生事業</p>  <p style="font-size: small;">間伐が実施されたスギ林と作業道</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持続的な森林管理を推進するため、意欲と能力のある林業経営体を実施する間伐や再造林等に対し補助 	<p style="text-align: center;">間伐 940 ha</p> <p style="text-align: center;">再造林 76 ha</p>	<p style="text-align: center;">間伐 640.7ha *炭素吸収量 1,153炭素ト/年</p> <p style="text-align: center;">再造林 70.1ha *炭素吸収量 140炭素ト/年</p> <p style="font-size: x-small;">※ 隣接所有者との調整や境界の確定、及び台風19号の豪雨により、作業が遅延したため、計画よりも実績が下がった。</p>
 <p style="font-size: small;">皆伐後の再造林</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐を効率的に実施するために必要な作業道の開設に対し補助 	<p style="text-align: center;">42, 000m</p>	<p style="text-align: center;">55, 800m</p>
		417, 290千円 (50, 580千円)	270, 996千円 (48, 692千円)

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
<p>種苗生産体制整備事業</p>  <p>採種園の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・再造林の推進に伴い需要増が見込まれる苗木の安定供給を図るため、採種園を整備 	<p>採種園 0.69ha</p> <p>3,422千円</p>	<p>採種園 0.69ha</p> <p>2,960千円</p>
<p>森林施業効率化促進事業</p>  <p>高性能林業機械による作業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐等の作業を機械化により効率的に行うため、高性能林業機械のレンタル経費に対し補助 	<p>延べ 110か月分</p> <p>8,775千円</p>	<p>延べ 53か月分</p> <p>※ 台風19号の豪雨により森林整備が遅延したことにより、計画よりも実績が下がった。</p> <p>4,263千円</p>
<p>高精度森林情報基盤整備事業</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・人工林における航空レーザー測量による森林の調査を実施 	<p>5市 15,000ha</p> <p>83,000千円</p>	<p>5市 19,761ha</p> <p>52,123千円</p>
<p>いばらき木づかいチャレンジ事業</p>  <p>公共施設等の木造化・木質化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等の木造化・木質化や新築木造住宅に対し補助 ・学校等への木製品導入に対し補助 	<p>木造化・木質化 8施設</p> <p>新築木造住宅 10戸</p> <p>木製品導入 10施設</p> <p>154,777千円 (37,032千円)</p>	<p>木造化・木質化 8施設</p> <p>新築木造住宅 10戸</p> <p>木製品導入 9施設</p> <p>91,601千円 (37,032千円)</p>

事業区分 (事業名)	事業内容	当初計画	実績
県立学校ブロック塀緊急安全対策事業  ブロック塀の木質化	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年6月に発生した大阪府での地震によるブロック塀倒壊事故を踏まえ、県立学校のブロック塀を撤去し、県産木材の有効利用のため、正門脇等に木塀を設置 	学校数 1校 12,343千円 (12,343千円)	学校数 1校 10,087千円 (10,087千円)
② 県土・生活環境の保全		319,320千円 (8,220千円)	276,570千円 (7,155千円)
条件不利地森林整備事業  広葉樹植栽の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 地形等の自然条件が林業経営に適さない人工林の広葉樹林化に対し補助 	20ha 17,370千円 (8,220千円)	10.3ha 7,411千円 (7,155千円) ※ 隣接所有者との調整や境界の確定、及び台風19号の豪雨により、作業が遅延したため、計画よりも実績が下がった。
海岸防災林機能強化事業  海岸防災林での植栽	<ul style="list-style-type: none"> 海岸防災林の機能強化を図るため、広葉樹の植栽や松くい虫予防のための薬剤散布を実施 	植栽 18.0ha 薬剤散布 420ha 157,000千円	植栽 10.7ha 薬剤散布 420ha 155,459千円
身近なみどり整備推進事業  見通しがよくなった平地林	<ul style="list-style-type: none"> 地域にとって良好な生活環境や、やすらぎの場をつくるため平地林・里山林の整備に対し補助 	95ha 144,950千円	88.1ha *炭素吸収量 62炭素ト/年 113,700千円

事業区分 (事業名)	事業内容	当初計画	実績
③ 森林に対する県民意識の醸成		67,537千円	36,330千円
森林・林業体験学習促進事業  間伐体験の様子	<ul style="list-style-type: none"> 森林づくりに関わる様々な体験メニューを提示し、森林・林業の体験学習を実施 	12,500人 49,490千円	10,325人 21,244千円
いばらきの森普及啓発事業  PRキャラバンの様子  森林ボランティア活動の様子	<ul style="list-style-type: none"> 森林湖沼環境税の意義や森林の働き・重要性等を啓発するため広報を実施 市町村が行う森林湖沼環境税や森林・林業の普及啓発活動に対し補助 地域の森林づくりなどの活動を促進するため、NPO団体などに対し補助 	パンフレット作成 10,000部 県広報紙「ひばり」に 特集記事掲載 PRキャラバン (県内5か所) 5市町村 20団体 14,153千円	パンフレット作成 10,000部 県広報紙「ひばり」に 特集記事掲載 (令和元年7月) PRキャラバン (県内5か所) 6市 20団体 13,073千円
筑波山ブナ林保護対策事業  ロープ柵の設置	<ul style="list-style-type: none"> 筑波山のブナ林保護のため、林床のササ刈り等を実施 	ロープ柵設置 135m 林床ササ刈り 750㎡ 3,894千円	ロープ柵設置 116.7m 林床ササ刈り 1,035㎡ 2,013千円

【令和元年度の事業実施による効果】

- 1 自立した林業経営を目指す経営体による森林経営集約化面積 [2032年：30,000ha]
平成30年度末：6,622ha → 令和元年度末：7,737ha [1,115ha増]

- 2 森林整備（間伐 641ha, 再造林70ha, 広葉樹植栽10ha, 平地林等の整備88ha）による効果
 - (1) 森林整備の効果を公益的機能の観点から金額換算
→ 約12億5千万円に相当
 - ① 水源涵養 約4億9千万円 ② 土砂流出等防止 約3億5千万円 ③ 二酸化炭素吸収 約4億1千万円
[※炭素吸収量(R1) 1,374炭素トン]

 - (2) 森林整備に係る費用対効果は、約3.2倍（効果：12億5千万円／費用：3億9千万円）

3 湖沼・河川の水質保全

(1) 令和元年度の実績

() は前年度繰越額を内書き

事業区分 (事業名)	事業内容	当初計画	実績
① 生活排水等対策		787,242千円	605,187千円
霞ヶ浦流域等高度処理型浄化槽補助事業  高度処理型浄化槽の設置	<ul style="list-style-type: none"> 高度処理型浄化槽の設置促進のため、設置者の負担額が通常型浄化槽よりも少なくなるよう上乘せ補助 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進するため、撤去費用を補助 	設置補助 1,385基 486,291千円	設置補助 1,210基 367,146千円 *年間負荷削減量 COD: 約28.0ト 全窒素: 約4.4ト 全りん: 約0.40ト ※補助申請が当初の計画よりも少なかったため、計画よりも実績が下がった。
湖沼水質浄化下水道接続支援事業  下水道接続工事	<ul style="list-style-type: none"> 下水道の整備済み地域において、未接続世帯を解消するために市町村が行う接続支援に対して補助 	下水道 2,100件 (高額補助: 411件) (低額補助: 1,689件) 167,960千円 農業集落排水施設 265件 41,260千円	下水道 845件 (高額補助: 507件) (低額補助: 338件) 154,984千円 農業集落排水施設 161件 24,977千円
農業集落排水施設接続支援事業  農業集落排水施設	<ul style="list-style-type: none"> 農業集落排水の整備済み地域において、未接続世帯を解消するために市町村が行う接続支援に対して補助 		*年間負荷削減量 COD: 約17.2ト 全窒素: 約6.9ト 全りん: 約0.74ト ※補助申請が当初の計画よりも少なかったため、計画よりも実績が下がった。
霞ヶ浦・北浦点源負荷削減対策事業  工場への立入検査	<ul style="list-style-type: none"> 工場・事業場の排水基準の遵守徹底等のため、水質保全相談指導員を配置し、工場・事業場の立入検査等を実施 	立入検査 1,100件 81,125千円	立入検査 1,001件 47,517千円 *年間負荷削減量 COD: 約10.6ト 全窒素: 約9.0ト 全りん: 約1.38ト
排水処理施設りん除去支援事業  排水処理施設	<ul style="list-style-type: none"> 農業集落排水施設の排水から更にりんを除去するため、薬剤の追加添加等にかかる費用を市町村に補助 	対象施設 36施設 10,606千円	実施施設 36施設 10,563千円 *年間負荷削減量 全りん: 約0.80ト

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
② 農地・畜産対策		107,027千円 (4,598千円)	52,991千円 (4,590千円)
霞ヶ浦農業環境負荷低減栽培推進事業  レンコン田	<ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ浦周辺のレンコン田における環境負荷低減栽培技術の開発・普及 ・畑地における適正施肥栽培の実証ほ設置，負荷低減技術の普及等 	適正施肥技術の開発・普及 適正施肥技術の普及 23,473千円	適正施肥技術の開発・普及 適正施肥技術の普及 18,511千円
良質堆肥広域流通促進事業  良質堆肥の散布	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産系負荷削減のため，霞ヶ浦流域内で生産された堆肥を流域外へ流通する取組に対して補助，たい肥の新たな活用及び販売ルートの開拓支援 	堆肥利用実証ほの設置 60ha 14,856千円	堆肥利用実証ほの設置 65.6ha 13,559千円 *年間負荷削減量 全窒素：約15.3ト
家畜排せつ物農外利用等促進事業  炭化灰化処理装置	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産農家における炭化灰化処理装置や蒸発散施設の整備への補助 	整備箇所数 3か所 56,698千円 (4,598千円)	整備箇所数 1か所 8,927千円 (4,590千円)
水田水質保全対策モデル事業  水管理の高度化による農業用水の節水 (自動給水栓の設置)	<ul style="list-style-type: none"> ・流域水田における土地改良施設を活用した循環かんがいや水管理の高度化による農業用水の節水等の水質保全対策の取組みに対する支援 	取組地区数 2地区 12,000千円	取組地区数 2地区 11,994千円

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
③ 県民意識の醸成		86,419千円	77,408千円
県民参加水質保全活動推進事業  湖上体験スクール	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの頃から水辺環境に親しみ水環境保全の重要性を学ぶため、湖上体験スクールを実施 	参加者数 9,600人 回数 — 63,804千円	参加者数 9,425人 回数 306回 58,414千円
水質保全市民活動・環境学習等推進事業  環境学習の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動を促進するため、環境保全活動や環境学習に必要な活動機材の無料貸出し及び市民団体への活動費補助を実施 ・霞ヶ浦自然観察会等の環境学習，霞ヶ浦学講座等のリーダー養成の実施 	補助団体数 30団体 参加人数 延べ7,200人 20,615千円	補助団体数 27団体 参加人数 延べ6,528人 17,110千円
漁場環境・生態系保全活動支援事業  植生(ヨシ)帯の保全活動	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業者等による植生（ヨシ）帯の保全活動に対して補助 	支援団体数 7活動組織 2,000千円	支援団体数 7活動組織 1,884千円
④ 水辺環境の保全		210,296千円	169,972千円
漁業による水質浄化機能促進事業  未利用魚を回収	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用魚の回収委託（魚体を通じた窒素・りん回収） 	未利用魚回収量 370トン 14,850千円	未利用魚回収量 292トン 12,433千円 *年間負荷削減量 全窒素：約7.2トン 全りん：約2.03トン
霞ヶ浦・北浦アオコ対策事業  アオコ抑制装置の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・アオコ抑制装置の設置等によるアオコ被害防止対策の実施 	アオコ抑制装置の設置，アオコ回収等 19,765千円	アオコ抑制装置の設置 13,829千円

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
千波湖アオコ対策事業  アオコ集積防止装置の設置	<ul style="list-style-type: none"> アオコ集積防止装置の設置等による景観保全及び悪臭被害防止対策の実施 	アオコ抑制装置の設置 11,500千円	アオコ抑制装置の設置 10,161千円
霞ヶ浦直接浄化対策検証事業  直接浄化施設	<ul style="list-style-type: none"> 土浦港内に設置する湖水の直接浄化施設によるりん削減等の実証試験の実施（令和元年度で終了） 	施設運転管理，検証 46,200千円	施設運転管理，検証，撤去 27,940千円
霞ヶ浦流域重点対策推進事業  石田湖岸（閉鎖区の水質浄化）	<ul style="list-style-type: none"> 新川流域における新たな技術を活用した河川直接浄化施設の設置等 	施設運転管理 49,232千円	施設運転管理 46,478千円
霞ヶ浦水質環境改善事業  霞ヶ浦環境科学センターにおける研究	<ul style="list-style-type: none"> 霞ヶ浦・北浦の水質改善に向けた試験研究 	水質改善に向けた試験研究（アオコの動態解明に関する調査・研究等） 68,749千円	水質改善に向けた試験研究（アオコの動態解明に関する調査・研究等） 59,131千円

【令和元年度の年間負荷削減量増加分合計】

COD：約55.8トン 全窒素：約42.8トン 全りん：約5.35トン
 →平均的な家庭約8,000世帯分の年間排出負荷量（COD）に相当